



いずみこども園だより



いずみこども園
ホームページ
QRコード

令和7年9月30日
千代田区立いずみこども園
園長 穴原 江美

【教育目標】 元気な子ども やさしい子ども ☆考える子ども

親子の触れ合いで、かけがえのない時間を

副園長 村田 靖孝

秋の風が心地よく、外遊びが楽しい季節になりました。園では、子どもたちが毎日、友達と一緒に走ったり、跳んだり、笑い合ったりしながら、元気いっぱい過ごしています。そんな日々の遊びの中で、体を動かす楽しさや、友達と同じ動きをまねして一緒に遊ぶ喜びをたくさん感じています。

先日行われた世界陸上の選手インタビューで、こんな言葉がありました。「スポーツや運動って、『頑張る』ものではなく、『楽しいからやってみたい』『誰かと一緒だともっと楽しい』と思えることが大切です。」

この言葉は、親子の触れ合いにも通じるものがあります。「楽しい!」「わくわくする!」という気持ちを親子で分かち合うことは、何よりも素敵な経験です。「やったね!」と抱きしめ合う——そんな些細な瞬間の積み重ねが、子どもにとって、かけがえのない宝物となります。日々の慌ただしさの中で、ほんの少しだけ時間をとって、親子で一緒に体を動かしてみませんか? お家の中でも、公園でも、音楽に合わせても、どんな場所でも触れ合いは生まれます。

たとえば…

お家の中で: 「けんけんぱ」「まねっこゲーム」

公園で: 「しっぽ取り」「かけっこ」「木のまわりぐるぐる鬼ごっこ」

音楽に合わせて: 「親子ダンス」「手遊びうた」「リズムジャンプ」

お風呂上がりに: 「タオル引っ張りっこ」「親子ストレッチ」「足の指でタオルつかみ」

寝る前には: 「背中にお絵かき」「もみもみこしょこしょ」

雨の日には: 「風船バレー」「落下つかみ(上から落としたり棒や布をつかむゲーム)」



どれも簡単で、親子で笑い合える時間が自然と生まれます。こうした触れ合いの積み重ねが、子どもたちの安心感や自信につながっていきます。

園での遊びも、まさにその通り。かけっこやしっぽ取り、ボール遊びやダンスなど、子どもたちが自然と「やってみたい!」と思えるものばかりです。そんな日々の遊びの延長にあるのが、「いずみふれ i (あい) スポーツ」です。

この日は、子どもたちが楽しんできた遊びを、保護者の皆さまと一緒に味わえる特別な一日です。「できる・できない」ではなく、「一緒に楽しむ」「触れ合う」ことが何よりの目的です。手をつないで歩いたり、笑いながら踊ったり、目を合わせて拍手を送ったり——そんなひとときが、子どもたちにも保護者の皆さまにも、心に残る思い出の1ページになるはずです。

「いずみふれ i (あい) スポーツ」が、親子で触れ合うきっかけとなり「また一緒に遊びたいな」「もっと体を動かしたいな」と思えるような、楽しい時間になりますように。子どもたちの「楽しい!」を、ぜひ感じてください。一緒に素敵な思い出を作っていきましょう。

実りの秋、皆さんのご家庭にもたくさんの笑顔があふれることを願って。

